取付説明書

ミラーキャビネット

MFK-501S、MFK-501S-G
MD7X3-501XFS

MFK・MD7シリーズ

取付業者さまへお願い

●取付けに関しては、必ずこの取付説明書に従い正しく取り付けてください。
※この取付説明書に記載されていない方法で取り付けされ、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますので、十分ご注意ください。
※水栓金具、電気温水器、即湯システムについては、それぞれに同梱の説明書に沿って正しく取り付けてください。
●同梱の取扱説明書は取付完了後、必ずお客さまにお渡しください。
※保証書（取扱説明書裏表紙）に貴店名、取付日を忘れずにご記入ください。
●取付業者さまは、商品に欠陥を生じさせる可能性を有しているゆえに、取付業者さまが欠陥を生じさせた場合は過失責任を負うことを十分認識いただき、お客さまが安全で快適にご使用できるようにご協力ください。

安全のために必ずお守りください

●ここでは取付けに際して守らないと人身事故や、家財の損害に結びつく注意事項を挙げています。取付前にこの項目をよくお読みいただき、正しく取り付けてください。

●用語および記号の説明

⚠警告	取付けを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
⚠注意	取付けを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。
⃠	「してはいけません!」（一般的な禁止記号です。）
	「分解してはいけません!」
❗	「指示通りにしなさい!」（一般的な行動指示記号です。）

⚠警告

❗ **電気工事は電気設備技術基準、内線規程など関連する法令・規定に従って必ず電気工事士の資格を有する者が適切な方法で行う。**
※無資格者の工事や、電気工事士による不適切な工事は、火災や漏電の原因になります。

❗ **電気工事は必ず分電盤のブレーカーを切って行う。**
※感電の恐れがあります。

改造や修理技術者以外による分解・修理を行わない。
※火災、感電、ケガ、故障の恐れがあります。

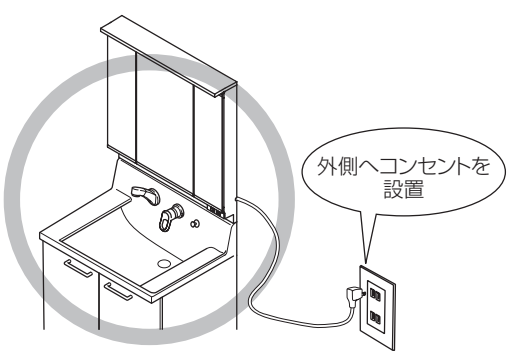
❗ **電源は必ず適正配線された交流100Vコンセントを単独で使用する。**
※AC100V 以外を使用すると火災、感電、ケガ、故障の恐れがあります。

コードなど各配線を傷つけない。
※無理に曲げる、力を加える、束ねる、重いものを載せる、挟み込むなど傷つくと火災、漏電、故障の恐れがあります。

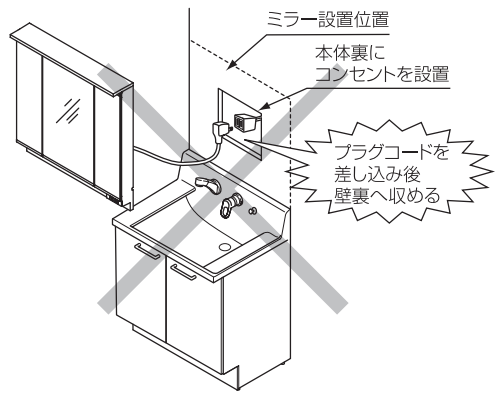
❗ **電源は必ず専用の回路を設け、110V、15A または、20A の過電流遮断器の設置された回路と接続する。**
※火災などの恐れがあります。

標準タイプ（電源プラグ付きコード仕様）の場合、電源用コンセントは本体の裏側に設置しない。
※本体の裏面など容易に点検・確認ができない場所にコンセントを設けるとホコリや湿気などで、トラッキングが発生した場合に火災の恐れがあります。

正しい取付例　本体の外側へコンセントを設置

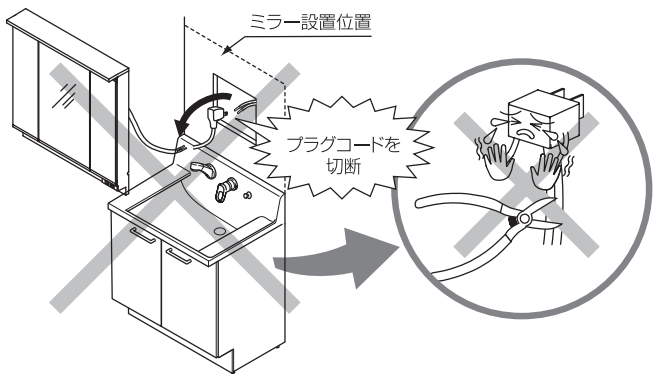


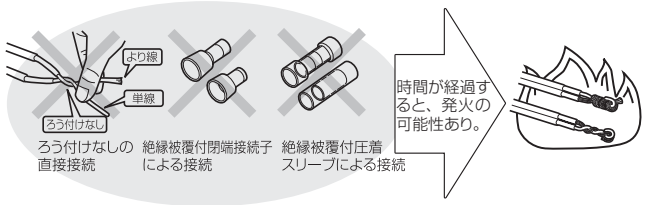
不適切な取付例　本体裏にコンセントを設置



標準タイプ（電源プラグ付きコード仕様）のコードの切断や取り外して直結接続をしない。
※不適切な接続は火災、漏電、故障の恐れがあります。
※標準タイプから電源プラグ付コードを取り外すと、渡りコードが緩み、発熱、発火の恐れがあります。
※直結接続の場合は、必ず直結配線タイプの商品にて接続をしてください。

不適切な取付例

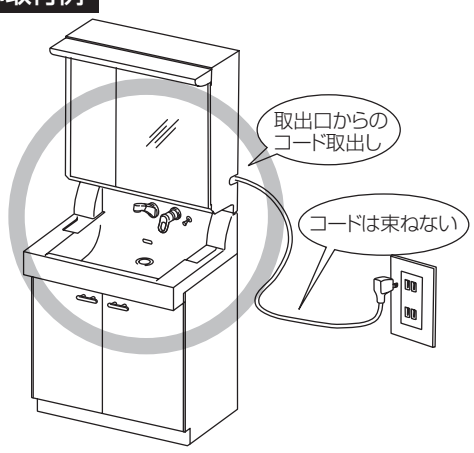




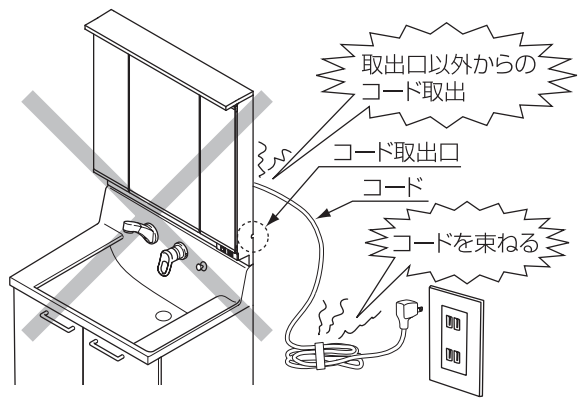
コード線を束ねたまま使用しない。
※コードが発熱し、火災の恐れがあります。

❗ **電源プラグ付きコードは、取付方法に記載された指定箇所より取り出し、キャビネット本体と壁の間に挟み込まないようにする。**
※鏡や扉のゆがみなど商品に悪影響が生ずる恐れがあります。
※挟み込まれたコードから火災、漏電、故障の恐れがあります。

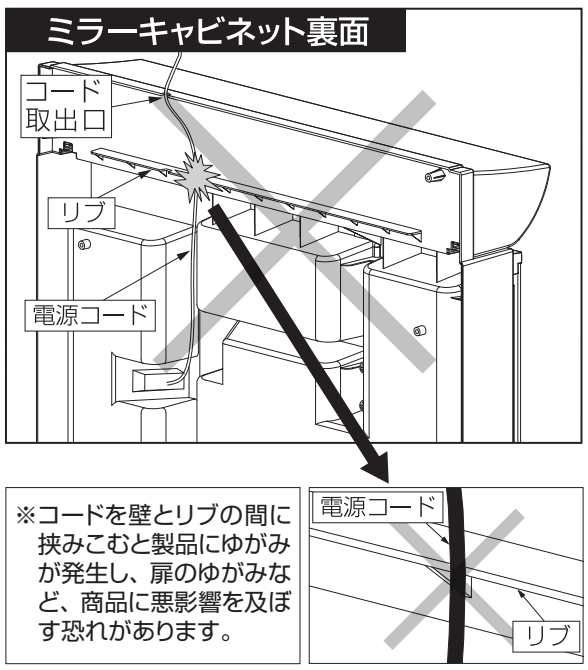
正しい取付例



不適切な取付例



ミラーキャビネット裏面



※コードを壁とリブの間に挟みこむと製品にゆがみが発生し、扉のゆがみなど、商品に悪影響を及ぼす恐れがあります。

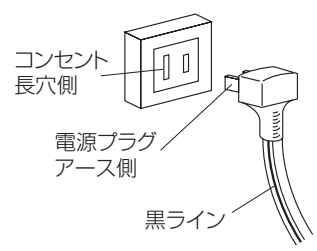
❗ **直結配線タイプの場合、電源線 VVF（単線）、φ1.6mm、またはφ2.0mm を取り出すときは、バリ取りを行ったφ30〜50 の穴より取り出す。**
※火災、感電の恐れがあります。

❗ **電源線 VVF（単線）、φ1.6mm、またはφ2.0mm は規定の寸法を守って加工する。**
※寸法を守らないと火災、感電の恐れがあります。

❗ **電源プラグを抜くときは必ずプラグ本体を持つ。**
※コード部分を引っ張るとプラグやコードが破損し、火災や感電の恐れがあります。

❗ **電源プラグをコンセントに接続する際は、周辺のホコリなどを取り除いて隙間がないように奥まで接続する。**
※ホコリなどがついているとトラッキング現象による火災の恐れがあります。

❗ **電源プラグは、アース側の刃（コードの黒ライン側）をコンセントの長穴に差し込む。**
※逆向き接続は照明交換時に感電の恐れがあります。



浴室内などの高温多湿場所へは設置しない。
※感電や漏電の恐れがあります。

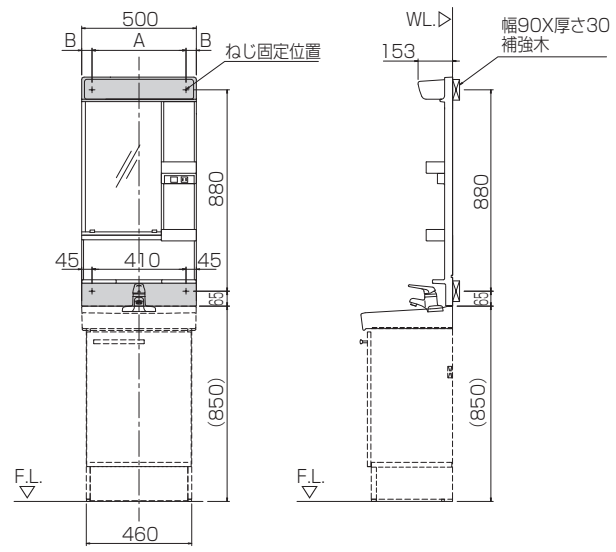
付属部品

付属部品の内容と数量が合っていることを確認してください。

	歯ブラシ立て	照明カバー	固定用ねじ (トラスφ4.0×50mm)	化粧キャップ	取付説明書 取扱説明書
MFK-501S MFK-501S-G MD7X3-501XFS	1個 (スタンドタイプ)	1個	4本	2個	各1部

寸法図

詳細寸法・固定位置は承認図を確認してください。(単位：mm)



品番	A	B
MFK-501S MFK-501S-G MD7X3-501XFS	330	85

取付前の確認

お願い

●直射日光が当たる場合は、必ずカーテンなどでさえぎってください。また、スポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。
※変色や変形、ヒビ割れを起こす恐れがあります。

●酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコールなどの溶剤や油類を使用して、キャビネットを拭かないでください。
※変色や変形、ヒビ割れを起こす恐れがあります。

●壁面工事や建築仕上げ工事に使われる溶剤・接着剤・洗剤・その他の薬品類は、容器などに記載の注意事項にしたがってお使いください。
※人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。

□ 電源の確認

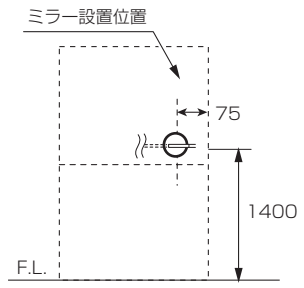
⚠ 警告

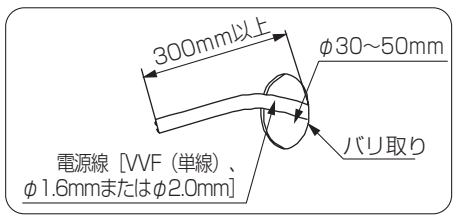
〈直結配線タイプ（品番末尾「-G」の場合)〉

●取付前にあらかじめ下記の所定位置に電源線 [VVF（単線)、φ1.6mm または φ2.0mm] が取り出してあることを確認する。
※誤った配線工事は、火災・感電、故障の原因になります。

●電源線の有効長さが300mm以上であることを確認する。

●穴あけした端部のバリがとってあり、電源線を傷つけないような状態であることを確認する。
※火災・感電の恐れがあります。



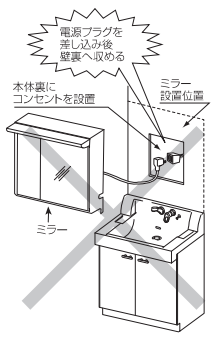


⚠ 警告

〈標準タイプ（電源プラグ付コード仕様）の場合〉

●電源コンセントの位置は、プラグコードの届く範囲で、床面より高く水のかからない場所に設定する。
※誤った配線工事は、火災・感電、故障の原因になります。

●電源コンセントの位置は、本体の裏面には設置しない。
※点検・確認ができない場所にコンセントを設けると、万一ホコリや湿気などでトラッキングが発生した場合に火災の恐れがあります。

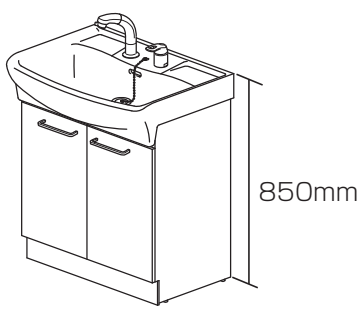


□ 化粧台の確認

⚠ 警告

ミラーキャビネットは平らな壁面に取り付ける。
※窓などの開口のある部分や壁面から隙間をあけて取り付けするとホコリなどの堆積や、使用される方がミラーキャビネット裏の配線に手を触れることで火災や感電の恐れがあります。

洗面化粧台のバックガード上端の高さが床面より850mmで、かつ水平であることを確認する。
※水平が出ていない場合、ミラーキャビネットも水平に設置できません。



□ 壁面工事の確認

⚠ 警告

下記事項が守られていることを事前に確認し、取付けを行う。
※守られていないと取付強度が保てず、キャビネットが落下してケガをする恐れがあります。

●下記「キャビネットを取付可能な壁面」の条件を満たさない壁には取り付けない。
※記載の条件を満たさない場合は、壁を施行し直してください。
※壁の不陸が 5mm/2m を超える場合は、必ず壁を施行し直してください。

●壁固定は指定のねじを、指定本数使用する。

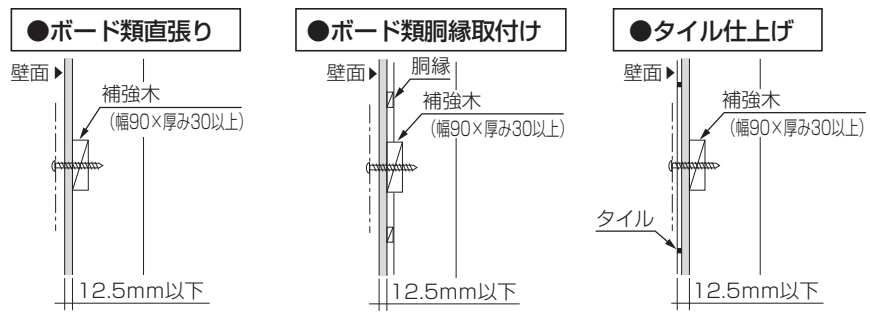
キャビネットを取付可能な壁面

〔乾式壁の場合〕

●「ねじ固定位置」には必ず補強木（幅90mm x 厚み30mm以上）を設ける。

●補強木は必ず柱・間柱・縦桟木など建築躯体に固定する。
※補強木の固定は、キャビネットの固定強度と同等以上になるよう、種類・数を選定してください。

●壁固定ねじを補強木に届かせるため、壁仕上げの総厚さは12.5mm以下にする。



●石こうボードなどで補強木が見えない場合は、工務店さまに位置および固定方法を確認する。さらに針刺しなどで壁固定ねじの位置に補強木の中心があることを確認する。

●リフォームなどの現場で補強木位置が不明な場合は、石こうボードなどをはがして確認する。また、補強木がない場合は必ず補強木を取り付ける。

【壁面に補強木が取り付けられない場合】

●取付壁全面に厚み12mm以上のJAS規格品合板を強固に取り付ける。
[建築工事]

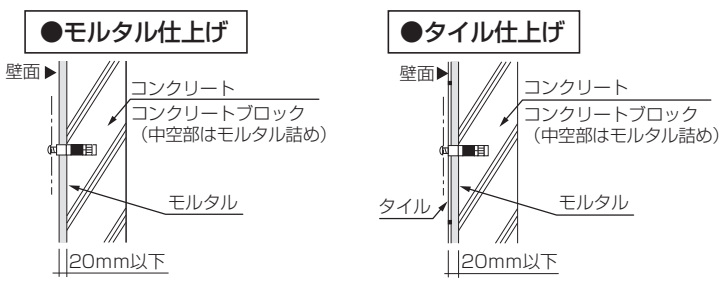
〔湿式壁の場合〕

●AYボルトの位置を確認し、位置出しをする。

●壁にφ7.5mm、深さ60mm以上の下穴をあけ、切粉をよく取り除く。
※下穴は電動ドリルを使用し正確にあけてください。

●AYボルトを挿入してゴム筒を押さえてボルトを抜き取る。

●キャビネットを壁に当て、ねじ穴からボルトで固定する。



●AYボルトを壁本体に届かせるため、壁仕上げの総厚さは20mm以下にする。

●壁固定ねじに合ったAYボルトを使用して、キャビネットを取り付ける。

（別途手配）

品名	品番	数量
トラスねじ用AYボルト	#KB-4X60T(AY)	2セット

※化粧キャップは、キャビネットに付属のものを使用してください。

【コンクリートブロック壁の場合】

●ブロック中空部はモルタル詰めする。

●キャビネットを壁面にあて、ねじ穴からボルトで固定する。

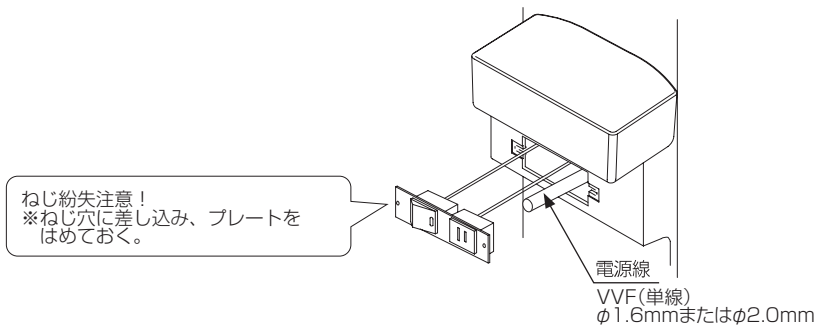
取付方法

❶ ミラーキャビネットの取付け

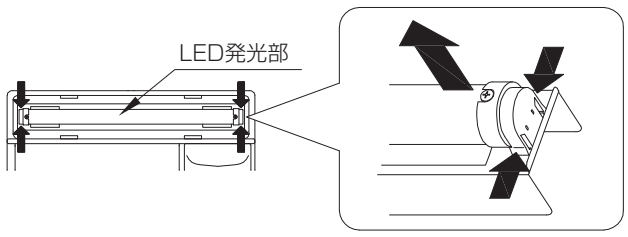
■直結配線タイプの場合（品番末尾「-G」）

コンセントプレートを外して電源線を取り出す。

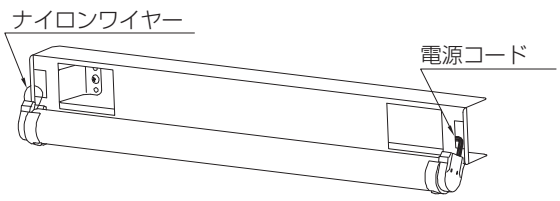
※配線されている線は抜かないでください。



LED発光部の両端の上下を指でつまみ、手前に引いて外す。



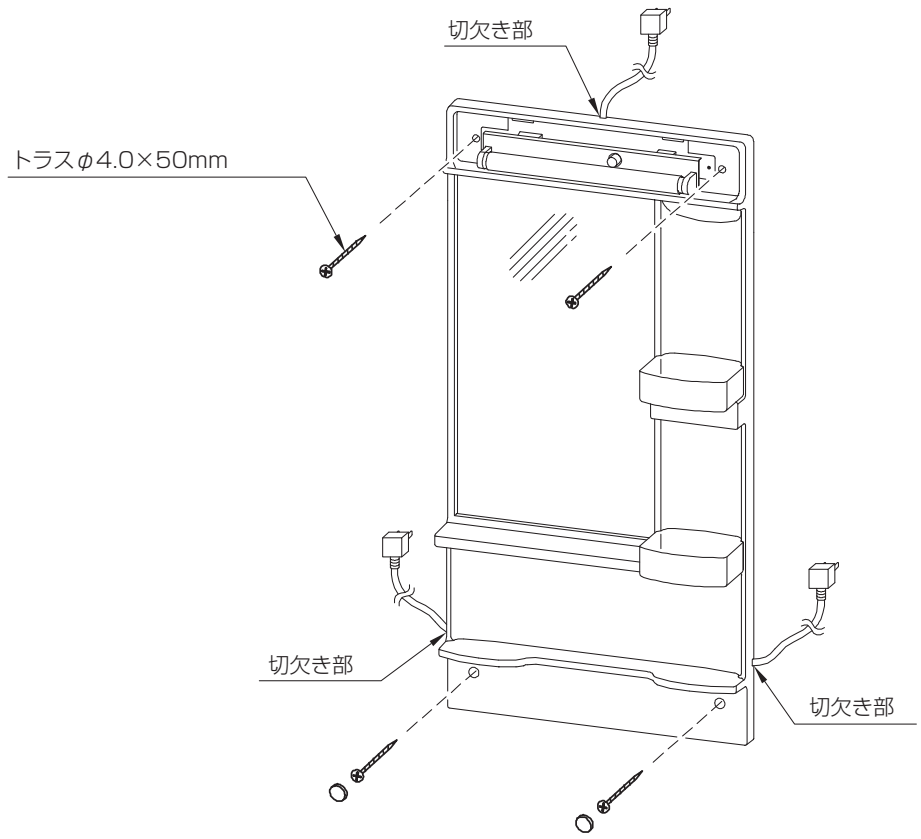
※右側は電源コード、左側はナイロンワイヤーで繋がっているため、無理に引っ張らないでください。

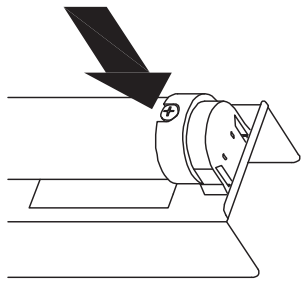


①化粧台の上にミラーキャビネット本体を設置する。

※ミラーキャビネット本体の切欠き部（上左右3カ所いずれか）から電源コードを取り出してください。

②ミラーキャビネット本体を壁にねじ固定し、下側2カ所に化粧キャップを取り付ける。

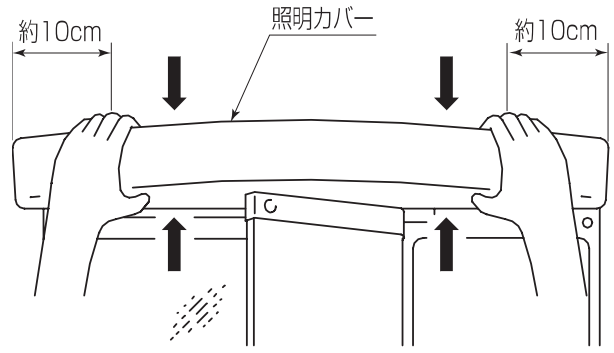




①ミラーキャビネット本体をねじ固定後、LED発光部を元の位置に取り付ける。
②手で軽く引っ張って、外れない事を確認する。

❷ 照明カバーの取付け

照明カバーの幅から10cmくらいの所の上面と下面を軽く挟んで持ち、ミラーキャビネットの開口にはめ込む。



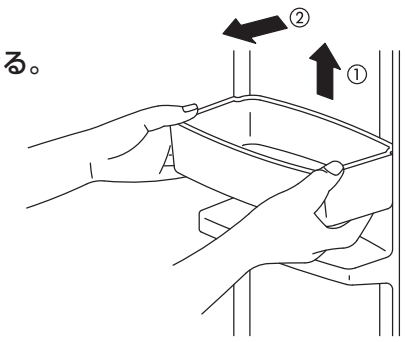
《 収納トレイの取外し・取付け 》

■取り外す

①両手で持ち、ゆっくりと持ち上げてフックを本体の溝から外す。
②手前に引いて外す。

■取り付ける

取外しと逆の手順で取り付ける。



直結配線の方法

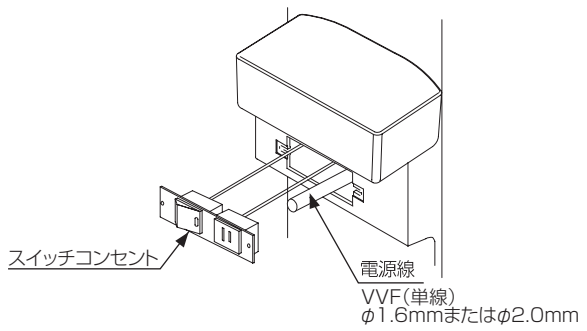
電気工事

⚠ 警告

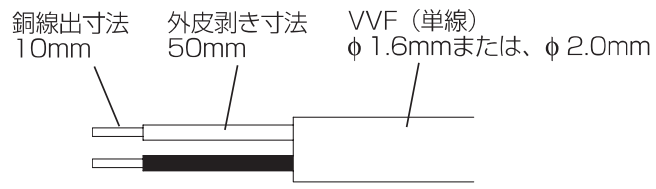
●**電気工事は、電気設備技術基準、内線規程など関連する法令・規定に従って必ず電気工事士の資格を有する者が適切な方法で行う。**
※無資格者の工事や、電気工事による不適切な工事は、火災や漏電の原因になります。

●**標準タイプの電源プラグ付コードの切断や取り外しをして、直接配線をしない。**
※不適切な接続の場合は、火災、漏電、故障の恐れがあります。
※標準タイプから電源プラグ付コードを取り外すと、取り外す際に渡りコードが緩み、発熱、発火の恐れがあります。
※直結接続の場合は、必ず直結配線タイプ（品番末尾-G）にて接続をしてください。

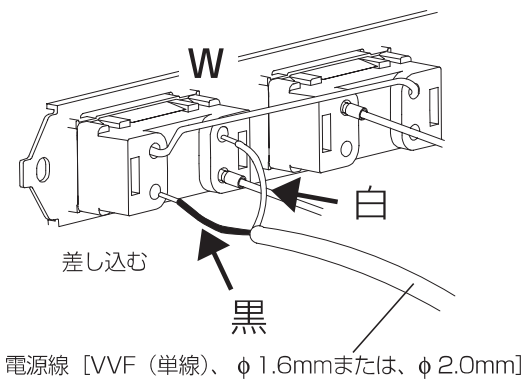
①電源線が取り出され、以下の状態になっていることを確認する。



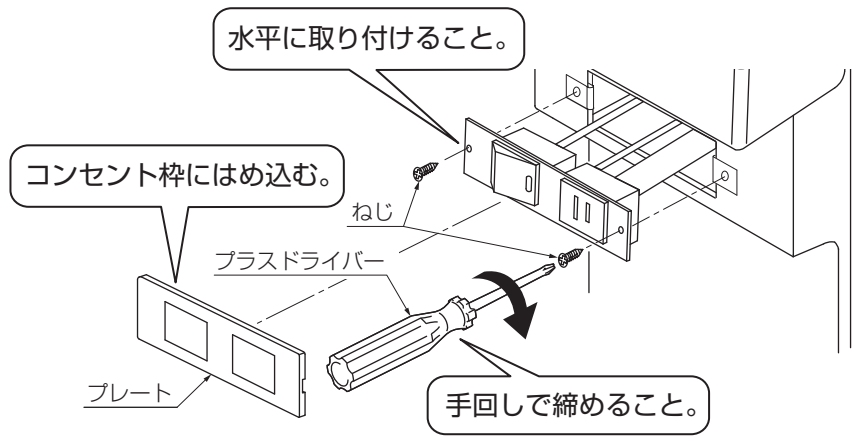
②電源線を以下のように加工する。



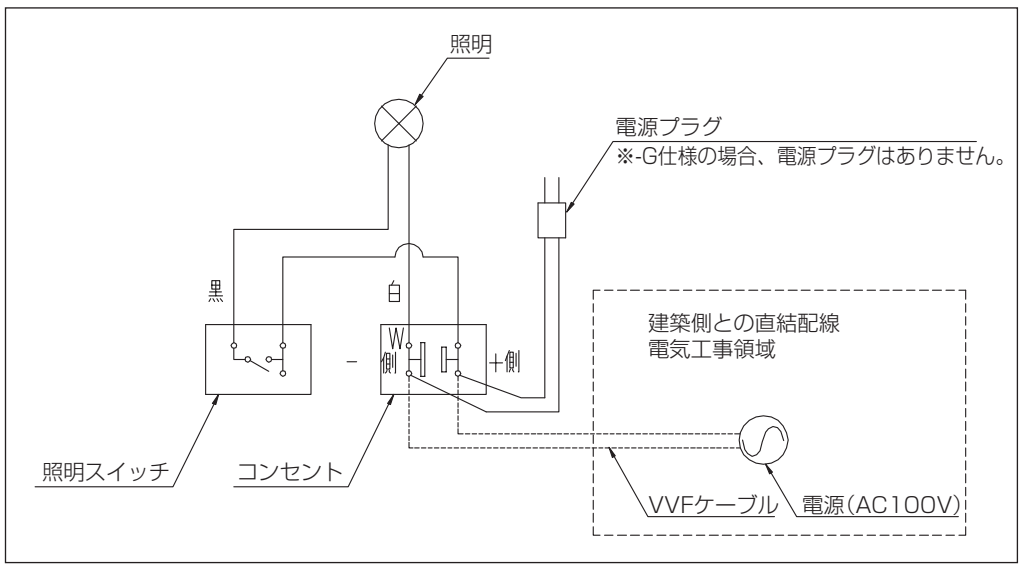
③電源線をコンセントの裏側に差し込む。
※必ず先端が奥に突き当たるまで確実に差し込んでください。



④配線を中に収め、元通りに取り付ける。
※電源線が長すぎて収まらない場合
コンセントから電源線を抜いて、適切な長さに切断し、加工し直してください。



■配線図



取付後の確認

■キャビネット本体の確認
□固定ねじが十分に締まっていること。緩みがないこと。
□キャビネット自体にゆがみ、ガタツキや壁との間に隙間がないこと。
□ミラーキャビネットと化粧台バックガード部に隙間がないこと。

■トレイの確認
□ガタツキがなく、取り付けられていること。

■照明の動作確認
□照明が点灯すること。
※スイッチボタンを押して動作（点灯および消灯）することを確認してください。

お願い

製品についた汚れは、柔らかいきれいな布で拭いてください。